

先土器時代の学習

(1) 学習のねらい

ヒトのあゆみについての理解を深める。

帯グラフ作成し、各時代の長さを実感するとともに、先土器時代がいかに長いのかを知る。

さいたま市にも約3万年前からヒトが住んでいたことを知り、様々な出土品から先土器時代の生活の様子を考えることができる。

(2) 展開

	学習活動・学習内容	・指導上の留意点 評価	資料
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・「地球の誕生の様子」を映像で見る ※ 「ヒトはどのくらい前に登場したの？」 地球の誕生（元旦）から現在（大晦日24:00）までを365日のカレンダーに置き換えてみる。 ※ 「ヒトの誕生は何月何日だろう？ 縄文時代の始まりは？ 織田信長が生まれたのは？」など発問し、活発に予想・意見を出し合いながら進めていく。 ・縄文時代（約1万年前）～現在までを40cmの帯グラフ（A4のノート見開き分）とし、各時代ごとに線を引き時代名を書き込んでいく。 ・ノートに貼り、帯グラフからわかったこと、思ったことを書き、発表する。 ※ 「先土器時代は、この帯グラフよりも長いのか？ どのくらいの長さか？」の発問に対し、予想する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「これから歴史学習が始まるぞ」と意欲付けをする。 ・地球の誕生約64億年、ヒトの誕生約650万年前、私達の直接の祖先（新人）の誕生約3万年前、縄文時代の始まり約1万年前など生徒の発言を受けて示し、考えるヒントにする。 ・帯グラフは教師側で用意し、時代ごとに区切った点線を入れておく。 積極的に作業をし、意欲的に授業に取り組んでいるか。 <p>（関心・意欲）</p>	<p>【映像】</p> <p>地球の誕生の様子</p> <p>帯グラフ</p>
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>先土器時代の人々の生活を考える！！</p> <p>～ さいたま市の遺跡から出土したものから、わかることは？ ～</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ※ 「なぜ昔の人の様子がわかるのか？（なぜ歴史を語ることが出来るのか？）」を考え、予想し、発表する。 <物質資料と文献資料> ※ 「さいたま市には何年前から人が住んでいたのか？」 「当時の人々はどんなものを使って生活していたのか？」の予想を書き、発表する。 明花向遺跡、北宿西遺跡、西大宮バイパス 4遺跡、御蔵山中遺跡からの出土品を、スライド・映像で見て検証する。 ・見ながらノートにメモをとり、見終わった後にその出土品から何がわかるか、自分の言葉でまとめ、発 	<ul style="list-style-type: none"> ・発掘の様子、年代の識別など詳しくは、次時の縄文時代で説明する。 ・生活の道具すべてが出土されているわけではなく、一部から推測し判断するしかない、ことを理解させる。 ・「 の出土品から、これが に使われ、 のような生活を送っていたと思 	<p>【映像】</p> <p>各遺跡の出土品</p> <p>さいたま市の地図</p>

<p>表する。</p> <p>明花向遺跡 ... 3万年前の最古の石器 北宿西遺跡...1000点以上の石器、火を炊いた跡 西大宮バイパス 4遺跡...尖頭器ナイフ型石器 御蔵山中遺跡... 料理のため焼いた石</p> <p>・さいたま市の2万5千分の地図でそれぞれの遺跡の場所を確認する。</p> <p>※「その辺に転がっている石でも切れる石器が出来るのか？」</p> <p>・西大宮バイパス 4遺跡出土の尖頭器、ナイフ型石器が黒曜石で出来ていること、さいたま市では黒曜石が取れないことを知る。</p> <p>※「では、どこからやってきたのか？」予想し、長野県『和田峠』を知る。</p> <p>・和田峠の様子を映像で見て、さいたま市からの距離を地図帳で確認する。</p> <p>※「なぜ遠く離れている和田峠の黒曜石がさいたま市にあるのか」を考える。</p> <p>【本当に黒曜石は切れるのか？実際に黒曜石を使って紙を切ってみよう！】</p> <p>・和田峠産黒曜石をハンマーで砕いた剥片を班に渡し、指定した紙を切ってみる。</p> <p>まとめ</p> <p>・教科書の先土器時代の記述、野尻湖の様子とさいたま市の遺跡の様子を比較する。</p> <p>・本時の授業でわかったことをワークシートにまとめ、発表し、クラス全体で共有する。</p>	<p>られる」とまとめさせる。</p> <p>・この時代の人々も様々な工夫をして、生活していたことを実感させる。</p> <p>映像、資料を見て当時の人々の様子を考察することができたか。(理解・技能)</p> <p>・先土器時代にも幅広い交流、流通があったことに気付かせる。</p> <p>・和田峠の映像、黒曜石ミュージアムでいただいた黒曜石を使い理解を深めさせる。</p> <p>・剥片はかなり切れるので、軍手を配布し、切らせる。</p> <p>・教科書などと比較させ、総合的に先土器時代を理解させる。</p> <p>様々な出土品から、先土器時代の生活の様子を多角的に理解し、自分の言葉でまとめることができたか。</p> <p>(理解・表現)</p>	<p>長野県 地図</p> <p>【映像】 和田峠</p> <p>和田峠産 黒曜石</p> <p>軍手</p> <p>教科書</p> <p>【映像】 野尻湖 ナウマン象 資料館</p>
---	--	--

資料

(3)【訪問先及び資料の入手先】 さいたま市立博物館、明花向遺跡、北宿西遺跡、
浦和博物館、 和田峠、黒曜石ミュージアム、下野風土記の丘資料館、野尻湖ナウマン象資料館

